

佐渡市空き家対策事業について

1. 事業の背景

近年、佐渡島内では少子高齢化に伴い、急激に過疎化が進んでおり、若者の島外流出が目立っている。その影響もあってか、市街地、郊外を問わず、あらゆる地域で空き家が増えてきており、その数は全島で1500件以上にのぼると思われる。

その一方で、都会から佐渡へと生活の場を求め、「空き家があれば利用したい」とのUIターン者の声が多く、また空き家の所有者にとっても、留守にしている間の防犯、防災面などで住宅の維持管理に苦勞しているのが実情である。

これらの事情をふまえ、旧両津市において平成15年度から空き家対策事業が開始された。

平成16年3月1日に10市町村が合併後、佐渡市が事業を引き継ぎ、佐渡全島での事業展開に向けて準備を進め、平成17年8月から佐渡市としての事業を開始した。

2. 事業の概要

(1) 空き家情報システム

ホームページにより空き家の紹介を行い、空き家所有者と利用希望者の出会いの場を作る。市は双方の必要な連絡と調整を行うが、空き家利用に関する条件等の交渉、契約については関与せず、当事者間で交渉してもらう。

(2) 空き家現地視察に係る旅費補助金交付

空き家情報システムに登録された物件を島外在住者が視察した場合に、その旅費の一部を補助する。(上限額2万円)

(3) ハウスクリーニングサービス事業

利用者の空き家視察又は入居決定時など必要な時に空き家の簡易なクリーニングサービスを行う。クリーニング作業は、(社)シルバー人材センターに業務委託している。

3. 佐渡市としての取り組み

(1) 全島での空き家調査(両津地区を除く)

(2) 空き家所有者に対するアンケート調査(住宅の貸借・売買の意思について調査)

(3) UIターン者に紹介できる空き家物件の募集(所有者に登録申請書送付)

(4) 空き家情報を掲載するHPのリニューアル

(5) 空き家対策事業の全島展開

4. 空き家調査・所有者アンケート調査集計結果

地区	空き家件数	賃貸又は売却の意思がある所有者	空き家台帳登録数 (HP掲載数)	備考
両津	401	35	20	旧両津市調査
相川	198	14	3	佐渡市調査
佐和田	110	7	1	
金井	119	12	2	
新穂	67	4	2	
畑野	115	9	0	
真野	60	13	0	
小木	55	3	0	
羽茂	23	8	2	
赤泊	26	1	0	
合計	1,044	106	30	

5. 空き家対策事業実績（平成17年11月現在）

空き家台帳登録延べ件数	30件
うち HP掲載件数	18件
抹消件数	12件
現地視察に係る旅費補助件数	8件
ハウスクリーニングサービス	7件
利用希望者登録延べ件数	47件
うち 入居成立件数	定住5件 短期滞在1件
入居条件交渉中	2件

6. 今後の課題・展開

HP以外の情報発信手段として、ポスター作成や佐渡市東京事務所を活用した宣伝により、首都圏におけるUIターン希望者への情報発信の充実を図る。

また、空き家物件の充実を図るため、広報紙等を通じて所有者に対する空き家募集のお知らせを欠かさず行う。

今年に入ってから、団塊の世代からの定住に関する問い合わせが多いことから、定年後も安心して田舎暮らしができる定住施策を作り、タイアップさせる必要がある。